

2020年6月12日

柏市長 秋山浩保様

日本共産党柏市議会議員団

新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ（第6次）

新型コロナウイルス感染症対策へのご尽力に心より敬意を表します。

公共施設の閉鎖が解け、市民の社会活動・健康増進の取り組みが再開されることを喜ぶ一方で、第2波の感染拡大を防ぐ対策を引き続き英知を結集して取り組み、備えていくことが必要です。

新型コロナウイルス感染症対策は、集会結社の自由、思想信条の自由など、基本的人権の尊重と相反するものであってはなりません。そうしてこそ国民の強い協力が得られる対策となります。

利用を再開した柏市の公共施設において、施設利用に際し一部過剰な条件を求めている事例が見られます。利用者全員の名簿を提出させたり、「利用者の秘密を守る」ことが大前提の図書館で、入館者に氏名・連絡先の記入のお願いをしていることです。「集会・結社の自由の侵害で、行きすぎではないか」「名簿の保管は大丈夫だろうか」など、日本共産党にも質問や意見が寄せられています。

日本共産党として千葉県に確認したところ、「施設を借りたイベントの主催者が、名簿と連絡先を把握していればよい」と回答しており、施設利用の条件として名簿の提出を求めていることがわかりました。

以下の通り対応を改善するよう要望いたします。

- 1, 施設利用者の名前と連絡先は、主催者が把握し保管するようにお願いすること。
- 2, 政府や専門家会議の対処方針、提言においても、来館者名簿の作成は必須とはされておらず、不特定多数が訪れる市区町村の役所や博物館、民間商業施設等でも、来館者名簿の作成は求められていません。柏市立図書館における入館者への氏名、連絡先の記入のお願いをやめること。

以上